



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601		
科目名	危機管理基礎演習 I		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 3		
講義室	1211	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジスキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（5%） E1 学識と専門技能（10%） F1 探求と論拠（10%） F2 課題解決（10%） G1 状況把握（10%） H1 論理的思考（10%） H2 批判的思考（10%） I1 理解・分析と読解（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） M1 統合的・応用的学修（5%）		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し、以後35年余にわたり警察行政等に従事した経験を適宜踏まえつつ、授業を行います。（第3～15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行情～3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究分野の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な危機管理学に関する基礎的な演習を行います。専門基幹科目における法学系科目や専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの各領域の危機管理系科目を担当する教員が、それぞれの研究分野における研究の手法について指導します。ここでの学びが、2年次後期からのゼミナールでのより専門的な研究活動への橋渡しの意味を持ちます。本演習では、危機管理上の諸問題の背景や原		

	因の特定から始めて、その解決に向けた研究計画の立案，集団的な研究の遂行や，その成果のプレゼンテーションによる表現までを一通り行うことを目標にします。授業形態は講義及び演習形式により行います。なお，対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として，又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：危機管理，治安政策，ゼミナールへの橋渡し								
授業の趣旨	■副題 治安政策の基礎を学ぶ ■授業の目的 治安政策の組み立て方について具体的事例を通じて学びながら，今後のゼミナールでの学修・研究に必要となる課題発見，論点整理，調査，分析，説明，発表（レジюме作成，プレゼンテーション），討論等に関する基礎的なスキルを身に付けることを目的とします。 ■授業のポイント 身近な治安政策を素材に，どのような問題に，どのような考え方で，どのような対処がなされたか，残された課題は何か等についての担当者の報告を踏まえて全員で議論することにより，治安政策の組み立て方について相互に理解を深め，また，各スキルの向上を図ります。								
総合到達目標	■危機管理上の諸問題を正しく理解し，分析し，合理的な対処方法を提示することができる。 ・課題や問題点の抽出，論点整理を適切に行うことができる。（第3～15回） ・調査・分析に必要な資料を適切に収集・活用できる。（第2～15回） ・報告すべき事項を的確に表現・説明できる。（第3～15回）								
成績評価方法	■授業参加度（60%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K2・M1 （評価の観点）予習状況（特に他学生発表回に係るもの）を含む受講態度，議論の積極性等について評価します。 （フィードバックの方法）必要に応じてコメントします。 ■プレゼンテーション2回（40%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1 （評価の観点）プレゼンテーションの内容（調査・準備の充実度，論理性等）や技法について評価します。 （フィードバックの方法）プレゼンテーション終了後，教員から講評を行います。								
履修条件	特になし。								
履修上の注意点	特になし。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方，評価方法等について説明するとともに，学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 報告担当テーマ選定，資料調査，レジюме等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマを選定するとともに，報告に向けた資料調査やレジюме等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自らの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて，その政策的意義，他の選択肢の有無，結果の妥当性等について議論するほか，報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し，治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方，評価方法等について説明するとともに，学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。	2	①授業テーマ 報告担当テーマ選定，資料調査，レジюме等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマを選定するとともに，報告に向けた資料調査やレジюме等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自らの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。	3	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて，その政策的意義，他の選択肢の有無，結果の妥当性等について議論するほか，報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し，治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方，評価方法等について説明するとともに，学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。								
2	①授業テーマ 報告担当テーマ選定，資料調査，レジюме等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマを選定するとともに，報告に向けた資料調査やレジюме等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自らの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。								
3	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて，その政策的意義，他の選択肢の有無，結果の妥当性等について議論するほか，報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し，治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。								

	④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
4	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
5	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
6	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
7	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
8	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。

	③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
9	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
10	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
11	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
12	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告（プレゼンテーション）技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
13	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。

	る。(C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告(プレゼンテーション)技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
14	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議 ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・H1・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告(プレゼンテーション)技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
15	①授業テーマ 担当者による報告及び全員討議並びに第1回からの授業全体のまとめ ②授業概要 特定の治安政策立案過程に関する担当者の報告を受けて、その政策的意義、他の選択肢の有無、結果の妥当性等について議論するほか、報告の基礎となった資料の過不足の有無や妥当性等についても検討し、治安政策に関する学修・研究方法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行うとともに、15回の授業全体を総括します。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された治安政策立案過程の特徴を自分なりに整理するとともに、報告(プレゼンテーション)技法や調査手法に関して参考となった事項を再確認する。
関連科目	「ゼミナールⅠ RMGT4601S」(2年次後学期配当)、「ゼミナールⅡ RMGT4602S」(3年次前学期配当)、「ゼミナールⅢ RMGT4603S」(3年次後学期配当)、「ゼミナールⅣ RMGT4604S」(4年次前学期配当)、「ゼミナールⅤ RMGT4605S」(4年次後学期配当)
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	必要の都度、授業及びClassroomで指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間帯も、必要に応じてメール等を通じた事前予約により対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ70%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■危機管理と法学のバランス 危機管理50%；法学50%

